

# 商店街活性化事業計画の概要

地域

新潟県糸魚川市

認定日

平成25年11月25日

**事業名：駅前商店街で糸魚川再発見～食、海、地形を生かした商店街活性化事業**

事業者名： 糸魚川駅前銀座商店街振興組合

事業実施期間 平成26年1月～平成29年3月

## ■商店街活性化事業の概要

- ・ 地域住民のニーズを踏まえ、安全・安心を図るLED照明・防犯カメラ付きアーケードを整備する。また、集客イベントとして食を中心とした地域製品の販売、市内山間部の買い物弱者居住地域に商品の配達、イベント実施に合わせた買い物弱者の送迎を行う。さらに販促チラシや商店街マップ等による広報活動を行い、商店街活動や各個店の商品情報を発信する。

## ■商店街活性化事業の内容

### ◆地域住民ニーズ

- ・ アンケート調査より、アーケード撤去以降は、「雨雪時の歩行が不便になった」、「夜間暗く危険である」などの意見や、アーケードと街路灯の設置要望が上位を占めた。また、防犯・防災意識の高まりから災害警報等への活用が可能となる放送設備や犯罪抑止力として効果が見込める防犯カメラ設置の要望もあった。

商店街全体に対しては、「産直市」や「鮮魚」等の販売店が欲しいといった要望をはじめ、食のイベントやファミリー向けイベントの開催、個店に対する要望としては、活気・魅力・個性の改善を望む声があった。

### ◆実施計画の主な内容

- ・ 悪天候時でも不便なく商店街を利用できるアーケードを設置する。また、LED照明や防犯カメラを設置することで夜間でも明るく、安全・安心な環境の整備を行う。
- ・ 毎月1回「駅前市場」「駅前講座」を開催し、生鮮品を中心とした地域製品の販売や、地域資源を学ぶ講座を実施する。このイベントに合わせ、個店の情報を掲載した折り込みチラシを発行する。
- ・ 既存店のスキルアップ研修や新規創業支援として出店希望者の販売スペースを設置する。
- ・ 市内山間部の買い物弱者への支援として、移動販売やイベント開催時に合わせて送迎を行い商店街の来街者アップにつなげる。
- ・ 駅前案内マップを作成し、情報の発信強化を行う。

## ■商店街活性化事業計画の目標

- ・ 商店街の来街者数を平成25年度と比較し、事業計画終了時には7%増を目指す。  
(平成25年度 平日815人 → 平成28年度 平日875人)
- ・ 商店街全体の売上高としては、平成25年と比較し、事業計画終了時には7%増を目指す。  
(平成25年度販売額 4.6億円 → 平成28年度販売額 4.9億円)

【商店街の様子】



【イベントの様子】



【イベントの様子】

